



Seven Generations

2015（平成27）年度 活動報告書

2016年2月

特定非営利活動法人
セブン・ジェネレーションズ



セブン・ジェネレーションズ（SG）とは？

Mission

わたしたちは持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1.人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2.つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3.対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4.プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5.オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6.問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていこうことに挑戦します。

7.体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



目次

1.チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム開催	・・・ 4ページ
2.中高生向けチェンドリプログラム開発プロジェクト	・・・ 5ページ
3.ファシリテータートレーニング	・・・ 6ページ
4.トレーニングリーダープログラム開催	・・・ 7ページ
5.チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム マーケティングプロジェクト	・・・ 8ページ
6.コミュニティ活動	・・・ 9ページ
7.リン・ツイスト来日関連イベント	・・・ 10ページ
8.ご寄付について	・・・ 11ページ
9.最後に	・・・ 12ページ



1. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム開催

2015年度は、1月10日から始まり12月28日まで、年間59回ものチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム（以下チェンドリ）が全国各地で開催され、参加者人数は660名、これまでの総計3515名となりました。

月1回の東京での定期開催をはじめとして、福岡県北九州市・高知県高知市・岡山県岡山市・大阪府北区など、関西以西でもその地域に住むファシリテーター、そして、チェンドリの目的に共感してくださる方々の協力により、精力的にシンポジウムが開催されました。

また、今期は、チェンドリ単体ではなく、他の組織等とのコラボレーションが数多く生まれました。1月のGlobal Leadership Communityという在日外国人と日本人による勉強会での英語版開催、2月には国土舘大学で授業、大阪にあるビジネスパーソン、研究者、クリエイターなどの会員制サロンであるナレッジサロンでも開催されました。8月には「育自の魔法×チェンドリ」を開催。NPO法人育自の魔法の代表である山口ひとみさんも応援に駆けつけ、育自の魔法ワークショップの要素を取り入れた内容を実施しました。その後も11月には「森×チェンドリ」で株式会社森へで「森のリトリート」を手がけるファシリテーターが「秋の森」をテーマに開催しました。都会の真ん中で開催されるチェンドリに、より自然とのつながりや森に教えてもらう多様性などの視点が入った、深い場となりました。また、東京アーバンパーマカルチャーのソーヤ海さんとのコラボレーションで、環境共生型「スロー・ビジネス」にも取り組んできた辻信一教授の明治学院大学のゼミ生への開催も実現しました。12月には北九州で、チェンドリ×トランジションタウン×NVC（非暴力コミュニケーション）×アズワンコミュニティという2日間にわたる画期的なイベントも行われました。





2. 中高生向けチェンドリプログラム開発プロジェクト

2015年は、中学生・高校生などの若い世代にこそ「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」を知ってもらい、希望を持って社会を変え、未来を創ってほしい、という思いから、中高生向けチェンドリプログラム開発プロジェクトが立ち上がりました。

1月には、私立自由学園の高校2年生30名に対して「情報」の授業内でチェンドリを開催することができました。また、2月には私立かえつ有明中学校3年生の全5クラス146名向けに「キャリア教育」の授業の中で開催いたしました。セブン・ジェネレーションズとしても、5クラス同時開催は初めてのことでしたが、このプロジェクトに参画したい！という熱い思いを持つファシリテーターがたくさんいたおかげで、1クラスを2名のファシリテーターが担当し、さらにフリーでクラス間の調整をしてくれるファシリテーターも2名置けたことで、若干の機材トラブルにもとてもスムーズに対応でき、無事終えることができました。

中高生対象に行うにあたっては、当事者意識を持ってもらうため『日本がもし100人の村だったら』（マガジンハウス社 池上彰 著）の素材を使用することや、生徒たちが活発で自由な対話に慣れていないということでワークシートをふんだんに取り入れたりしながら進めるという今までにない試みがなされ、成功を収めました。

※生徒の写真掲載については学校の許可をいただいています。





3. ファシリテータートレーニング

2015年度のファシリテータートレーニングは初の関西開催を含め全5回開催し、38名のファシリテーターの仲間が誕生しました。その中には、高校生チェンドリを受けた生徒もあり、初の高校生ファシリテーターが5名も誕生いたしました。

第15回 チーム「Roots10」 10名

日程：2月21～22日@せたがや・がやがや館（東京都世田谷区）
立岡里司（SOL）、猪岡愛佳（あいか）、大野文仁（JIN）、伊藤めぐ（めぐ）
森大樹（ひろ）、館岡康雄（みらいちゃん）、宮本菜月（なっちゃん）
三浦匡以（まささん） 小仁聡（コニー）、倉林百合子（くらさん）



第16回 チーム「WA-愛」 6名

日程：6月6～7日
@せたがや・がやがや館&下馬地区会館（東京都世田谷区）
駒野宏人（ヒロ）、石原秀憲（ヒデ）、小澤真理子（まりちゃん）
松原僚平（りょーへー）、西村海輝（かいき）、中村晴奈（なかはる）

第17回 チーム「OHANA」 10名

日程：7月22～23日@せたがや・がやがや館（東京都世田谷区）
杉本博美（ひろみ）、福井周（しゅう）、古里光（ひかる）、松島直輝（なおき）
草野良輔（Rio）、安川裕子（ゆうこりん）、藤崎健太（けんた）、俵山美絵（みえ）



第18回 チーム「CO-Be」 4名

日程：9月12～13日 @しみん基金KOBÉ （兵庫県神戸市）
仙田典子（のりこ）、川崎倫（みっちー）、河合史恵（きら）
江口聡（ぐっさん）



第19回 チーム「からふる」 8名

日程：9月26～27日 @銀座オフィス （東京都中央区）
石丸雄大（いっしー）、梶原修（かじ）、小林智子（さとこ）
更科幸一（さらし）、鈴木繭子（まゆ）、柘植晴永（はるえ）
原田直和（なお）、藤清人（ふじ）





4. トレーニングリーダープログラム開催

第一回・第二回のファシリテータートレーニングはパチャママ・アライアンスのトレイシー・アップルとセブン・ジェネレーションズ創設者の榎本英剛がリードしました。その後はその二人によるトレーニングリーダープログラムを終えたトレーニングリーダーによってリードを行ってきました。

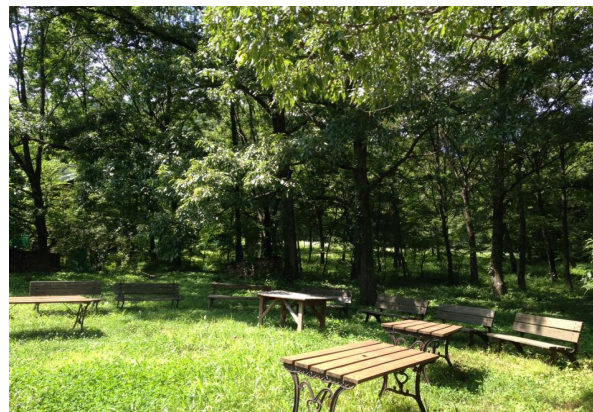
昨今の社会変革への意識の高まり、2014年のリン・ツイスト来日とその後のチェンドリ月間開催に伴う日本全国での反響を踏まえ、さらに多くの方々にファシリテータートレーニングをお届けしようと考え、第二回目のトレーニングリーダープログラムを開催いたしました（トレーニングリーダーチーム：塚田康盛、赤塚丈彦、鈴木核、佐藤扶由夫）。

本プログラムの開催にあたっては、広くファシリテーターに呼びかけ、「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」の目的に深く共感しており、ブレスト・アンレスト（祝福された不安）の気持ちを持って臨める方を公募しました。

結果、8月7～9日にかけて長野県女神山ライフセンターにて2泊3日とその後に続くトレーニングリーダープログラムを終え、新たに7名のトレーニングリーダーが誕生しました！

（新トレーニングリーダー：宇佐見博志、丸山まゆみ、鳥谷部愛、桑原康平、小谷真司、田嶋真紀、二子渉）

今後の新トレーニングリーダーの活躍にどうぞご期待ください。





5. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム マーケティングプロジェクト

2014年度の全国チェンドリ月間では、参加者募集に苦心した経験から、今後取り組むべきテーマとして、シンポジウムのマーケティングが浮かび上がりました。

それに基づき、代表理事の宇佐見博志をはじめとした有志メンバーで、元P&G取締役エクスターナルリレーションズ担当の辻本由紀子氏をお招きして、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのマーケティングの要諦についてのディスカッションを行いました。数回に渡る示唆に富んだアドバイスとサポートをいただきながら調査を進めた結果、口コミでの参加率が高いということがわかりました。そこで、シンポジウム参加者が気軽に友人・知人にこのシンポジウムを紹介できるような予告動画を作成することになり、3分以内の予告動画を2パターン作成しました。

予告動画は、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのホームページを始め、セブン・ジェネレーションズのYoutubeチャンネルでもご覧いただき、シェアしていただくことができます。

- 「モーニング・スター」
(幸せと思い込み) バージョン(2'44")
<https://youtu.be/7Jaopwur31Y>

- 「ウィンド・スピリット」
(参加者の声/夢を変える) バージョン(2'50")
https://youtu.be/8V_RTf5mvHM



6. コミュニティ活動

今期より、セブン・ジェネレーションズでは正会員・賛同会員及びチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムファシリテーターを「セブン・ジェネレーションズコミュニティメンバー」と位置づけ、私たちのミッションである「持続可能で公正な未来を実現するために、目覚めた世界市民のコミュニティを育む」ことを具体的に実施していこうと試行錯誤を重ねました。

コミュニティメンバーとの活動として、以下に代表的なものをご紹介します。

ファシリテーター向け：チェンドリファシリ塾

ファシリテーターになって活躍しているメンバーをもっとサポートしていきたい、ということで理事の丸山まゆみが中心となり、チェンジ・ザ・ドリームシンポジウムを題材にしながら、それぞれの活動に人を巻き込んでいくためのファシリテーションスキルをアップするための講座「チェンドリファシリ塾」が開催されました。



パチャママコール（毎月一回@電話会議システム）

パチャママ・アライアンスの海外連携担当のMaisaさんと月一回ミーティングを行ってきました。今年度はその参加対象をコミュニティメンバーにまで広げ、アメリカ在住のファシリテーター杉原めぐみさんに通訳をお願いし、お互いどんな活動をしているか情報交換したり、チェンドリをやっていてわからないことを質問したり、日本で活動を進めるに当たりアドバイスをもらったりしています。

対話イベント

「私を衝き動かすもの 内側から創るコミュニティ〜ブレストアンレストに導かれて〜」を大阪・東京で開催しました。大阪はスピーカーに鈴鹿のアズワンコミュニティから北川道雄さんをお迎えした他、岐阜県石徹白町おこし協力隊の活動をしている加藤万里子、企業現場で支社長として活躍している川田照義。東京はサスティナビリティを企業に導入するため起業した東嗣了、LGBT当事者の平山裕三、チェンドリがきっかけでNGOグリーンピースに転職をした関口守を迎えて、それぞれの人生とブレストアンレスト、持続可能で公正な社会への取り組みを聞いた上で参加者みんな対話を行いました。





7. リン・ツイスト来日関連イベント

「五井平和賞」（主催：五井平和財団）をリン・ツイストが受賞

2015年12月、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムの生みの親であるリン・ツイストが五井平和財団の「五井平和賞」を受賞するため来日いたしました。受賞理由は、リンが世界的な社会活動家、ファンドレイザーとしての豊富な経験と深い洞察から、人々が人生における真の価値と尊厳を見出し、お金の支配されるのではなく、お金を正しく使うことで自他が共に幸せになり社会に寄与する生き方ができるよう、意識変革に取り組んできたこと。そして貪欲な経済活動と所有欲が引き起こしている地球環境問題や不平等な分配等の課題を根本から解決する方法として、社会システムの経済至上主義からの転換を訴え、すべての人々が真に豊かで公正かつ持続可能な世界を実現できるよう、人々の意識啓発とエンパワメントを目的とする活動を続けてきたことです。

また、それに伴い授賞式の前日にクロードで開催された「富士宣言×ビジネス・経済 ～未来を共創するダイアログ」にも当団体代表理事の宇佐見博志と理事の鳥谷部愛が参加し、若手ビジネスリーダーとして活躍をしている方々とリンを囲んで世界を変容させるためのアプローチについて対話をして深めました。



本田健氏とリン・ツイストのコラボレーションセミナー「人生の目的を見つけて、お金から自由になる法 ～世界を癒すお金の受け取り方と使い方～」でのプレゼンテーション

リン・ツイストの来日に伴い、11月末日かねてよりリンと交流のあった作家・本田健氏とのコラボレーションセミナーが実現いたしました。当日は、当団体代表理事の宇佐見博志と理事の鳥谷部愛が500名以上の参加者の前でチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム及びNPO法人セブン・ジェネレーションズについてプレゼンテーションを行いました。

リン・ツイストとセブン・ジェネレーションズ・コミュニティメンバーとのコミュニティギャザリングを開催

リンの来日で最も盛り上がっていたのは、おそらくファシリテーターと正/賛同会員から成るセブン・ジェネレーションズコミュニティのメンバーではないかと思います！リンとコミュニティメンバー限定のギャザリングでは、平日の日中にも関わらず60名以上のメンバーが集まり、リンの経験からの知恵を受け取りました。

現代社会の「夢」から目覚め、持続可能な社会にするために、まず私たちは周りにいてすでに心のドアが少し空いている人から対話をしていくと良いということ、人に伝えるためには、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムを3回以上は受けてみると良いということなど、今すぐやってみよう！（Getting into Action!）と思えるようなエンパワーされる時間となりました。





8. ご寄付について



2015年度も全国チェンドリ月間をはじめとして、各地で開催しているチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムや当団体のイベントにおいて289,404円のご寄付をいただきました。

みなさまからの自分らしい役割を果たして持続可能な未来を創り、次世代に受け渡したい、という思いを資金という形で受け取ることで、当団体の活動がより広がり、目覚めた世界市民を増やすことにつながっております。



2015年度末からは「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」のVer3.0翻訳・映像制作プロジェクトも立ち上がり、チェンドリファシリテーターを中心とした総勢30名以上の有志グループで、ビジネスや具体的な社会変革のためのアクションという観点から、私たちは一体何ができるのか？ということに重心をより移したプログラムを開発しています。こちらについては、2016年春頃リリース予定ですので、ぜひ新たなチェンドリにもご期待ください。

Ver3.0という新たな映像制作に伴い寄付も随時受付けております。みなさまの持続可能な社会への願いを実践する団体でありたいと考えておりますので、ぜひご支援ください。





9. 最後に

2015年度は基盤整備の年と位置づけ、財政基盤強化、組織内システム整備、マーケティング、トレーニングリーダー育成などを精力的に行ってまいりました。

その結果、初の関西開催も含め5回のファシリテーター・トレーニングで38名の新しいファシリテーターが誕生し、総計210名となりました。また、今年度の活動を通じて共感、賛同してくださる方が増え、2016年度は正会員84名、賛同会員82名という体制でスタートすることになりました。

日々活動していると、同様な願いや想いをを持った団体・企業・学校・個人の方々との出会いが起こり、以前よりも無理なく協力しあえる関係を構築できるようになってきています。そんな体験から、今世界は確実に変容へ向かっていると感じています。

セブン・ジェネレーションズは、個々人だけの充足を超えて、持続可能で公正な世界をすべての人が実現できると信じ、活動しているコミュニティです。

これからも共に手を取り合い、アマゾンの熱帯雨林のような多様性と豊かさにあふれ、すべてが調和している持続可能な世界をつくっていきましょう。

法人概要

1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 所在地

東京都千代田区

4. 連絡先

電話 03-6228-7605

メールアドレス info@sevendgenerations.or.jp

5. 会員数（2016年1月1日時点）

正会員 84名 賛同会員 82名

6. 組織

代表理事 赤塚丈彦 宇佐見博志

理事 鈴木核 丸山まゆみ 鳥谷部愛

監事 羽場内祐二 由佐美加子